

ダニ媒介感染症に注意しましょう！

野山に生息するダニに咬まれることで重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

1 予防のための対策

野山などに入るときは、ダニに咬まれないため次のような対策が推奨されています。

- ・肌の露出を減らすため長袖、長ズボン、帽子及び手袋を身に着ける。
- ・防虫スプレーを肌の出る部分や服の上から用量用法を守って使う。
- ・地面に直接腰を下ろしたり、寝転んだりしないよう敷物を使う。
- ・屋外から帰ったときは石鹸で手を洗い、入浴して服を着替える。

2 マダニに咬まれた場合の対処方法

もしもマダニに咬まれた場合は速やかに医療機関を受診し、受診後も体調の変化が無いか2週間程注意してください。また、山林、田畑及び河川敷等へ行った後で頭痛や倦怠感があり、高熱が続いて発疹が出た場合には早めに医療機関を受診してください。

皮膚に咬まれた状態でマダニを見つけた場合は、できる限り直接手でマダニを取ったり、つぶしたりせず、医療機関で処置を受けるようにしてください（無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚内に残ってしまう場合があります）。

【参考資料】

- 1 厚生労働省ホームページ（ダニ媒介感染症）
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>
- 2 厚生労働省ホームページ（SFTS について）
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>
- 3 厚生労働省リーフレット（「ダニ」にご注意ください）
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000164586.pdf>
- 4 国立感染症研究所リーフレット（マダニ対策、今できること）
<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000164561.pdf>